

定着度の
確認と復習に
授業の幅が広がる

Q 実際の使い方を知りたい!

岩手県・A先生(国語)の使い方

半分くらいの枚数は、単元の学習の終わりに単元テストとして使用し、残りは宿題などにします。生徒が解く時間は表裏で25分を基準に、できない子がいたら30分に延ばしています。残りの時間で答え合わせ・解説。実施後に解答を配付し、自己採点が基本ですが、難問は解説します。記述に関しては、回収後に自分が採点することも多い。定期テストでは扱いきれなかった観点(書く・言語など)について、単元プリントの点数を参考にしています。

岩手県・B先生(社会)の使い方

単元が終わるたびに1枚ずつ、授業中の単元テストとして使用します。表面は必ず取り組みます。裏面は使わない場合は1回10分～15分で、裏面まで取り組ませる場合は20分。全回やるわけではなく、時間の都合上飛ばした回は宿題としています。その場合は、ちゃんとやったかどうか、翌日の授業前に5分間のミニテストで確認します。回収・点検ともに行い評価にも組み入れます。点数を記録し、定期テストと共に評点に用いています。

福井県・C先生(数学)の使い方

単元が終わるたびに1枚配っています。使用場面は授業中と家庭学習の半々です。授業で実施する場合は1問ずつ全員で順番にやっていきます。1人ひとり解かせる場合と、グループで解かせる場合があります。表面は飛ばして裏面だけを使う場合もあります。表面は家庭学習で簡単にできるので、家庭学習で実施する場合は、次の授業で答えを配って自己採点させています。

青森県・D先生(理科)の使い方

定期テスト前のふり返りの時間に問題練習をさせるために使います。テスト範囲を単元プリント3～4枚分にあわせています。ふり返りの時間の1時間に1枚配付。1回のテスト範囲で3～4枚=3～4時間はふり返りの時間を取ります。答え合わせは、解答を配付して自己採点。絶対におさえさせたいところや間違えやすいところを解説します。回収・点検はできるだけしています。提出しないとだめという意識づけをさせるためです。

福井県・E先生(英語)の使い方

定期テスト前にその範囲のものを2～3枚まとめて使用。自己採点で、問題をピックアップして全体で解説をします。ほとんどの回を授業中に実施するが、宿題になってしまう場合は、答えもいっしょに配ります。テスト前の数日は単元プリント用の時間にして、それだけに取り組みます。解き終わった生徒から解説・解答を取りに来させて、自己採点させています。回収点検はしていません。評価にも入れません。

単元プリントその他の教材について
お知りになりたいことがありましたら、
教材販売店までお気軽に
お問い合わせください!

単元プリントをご活用ください!

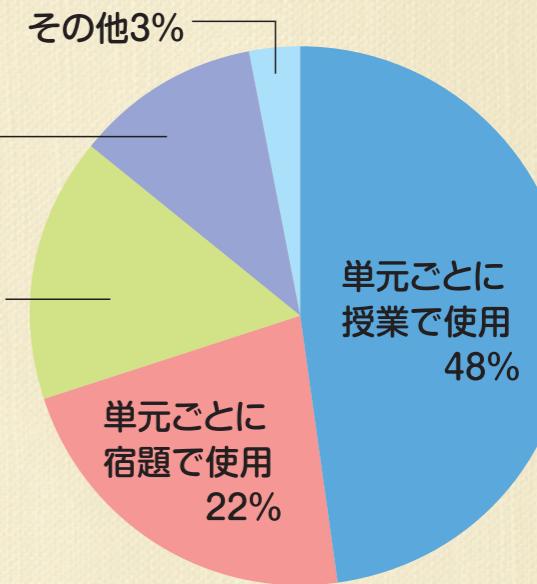
Q 単元プリントとはどんな教材?

1単元1枚で基本から発展まで シンプルで扱いやすい教材です

単元プリントの使用場面

テスト前に
宿題で使用 11%

テスト前に
授業で使用 16%



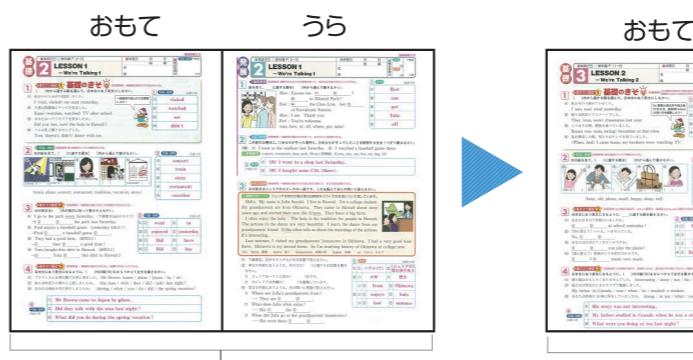
単元プリントは、年間12枚～20枚程度で、教科書の単元ごとに、基本的な問題から発展問題までを1枚のシートに収めたプリント教材です。

2012年 一般社団法人 全国図書教材協議会の調査による

Q 単元プリントを使うメリットは?

① 単元ごとの定着度の確認がしやすい

単元プリントは教科書1単元の基礎から発展までの学習内容を1枚の中で出題。使用時間も1枚20分～40分程度で、観点別に集計できるようになっていますので、学習内容の定着度を簡単に確認することができます。



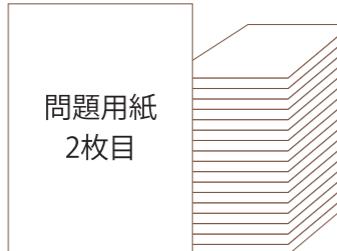
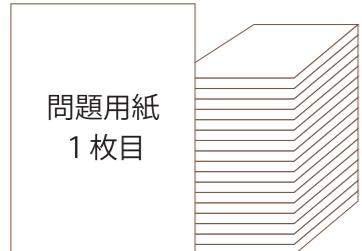
見本と教師用はこのよう
な冊子になっています。

生徒用は1単元1枚の
プリントです。

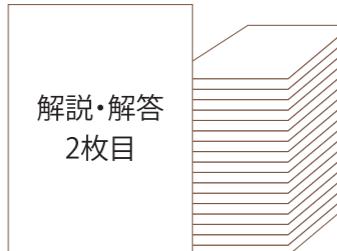
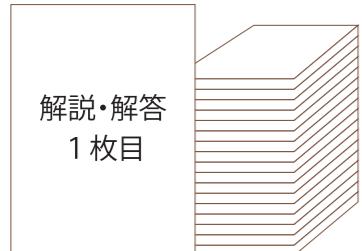
単元プリントをご活用ください!

②「授業と並行」・「テスト前にまとめて」など、臨機応変に使える

単元プリントは、「1クラス1回分」というまとまりで納品されます。ある回は単元終了時に、ある回はテスト前などで、授業計画にそってどのようにでもお使いいただけます。

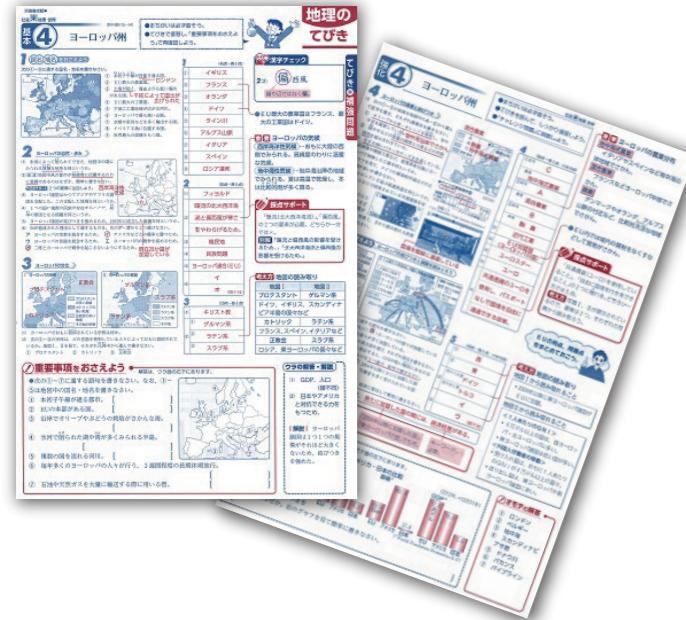


学校に保管していただく教材ですので、生徒の自宅保管教材と違つて、いつでも必ず全員に同じ学習をさせることができます。



左は一般的な納品方法です。これ以外でも、先生のご要望に応じた納品方法のご相談に応じています。詳しくは教材販売店までお尋ねください。

③充実した解説・解答で、実施後の復習が可能



単元プリントには問題1枚に対して1枚の解説・解答のシートがついています。

- ①問題の縮刷方式で採点がしやすい。
 - ②問題ごとの詳しい解説がついている。
 - ③間違えやすい問題の解説や採点基準も充実。
- など、生徒の自己採点・事後学習をしっかりフォローしています。

さらに、こんな
メリットも！

④標準的な問題内容で生徒の学力レベルや指導内容をチェック！

単元プリントは、学校教材専門の出版社が編集・制作し、全国の学校専門の販売店を通して提供しています。学校の実情に詳しく先生方の身近にいる業者が、学習指導要領や教科書の研究を土台に編集していますので、もれなく・かたよりなく、標準的な問題で学習状況や指導状況の評価することができます。

⑤独自の調査・分析で適切さを確保

単元プリントを発行している出版社の多くが加盟している日本図書教材協会では、検定制度のない教材に対する「学校教材調査会」を設け、大学教授と現職の中学校教諭で構成される調査委員により、加盟出版社の教材の1枚1枚、1問1問の適否を分析してフィードバックし、次回の教材編集に活かす取り組みを行っています。

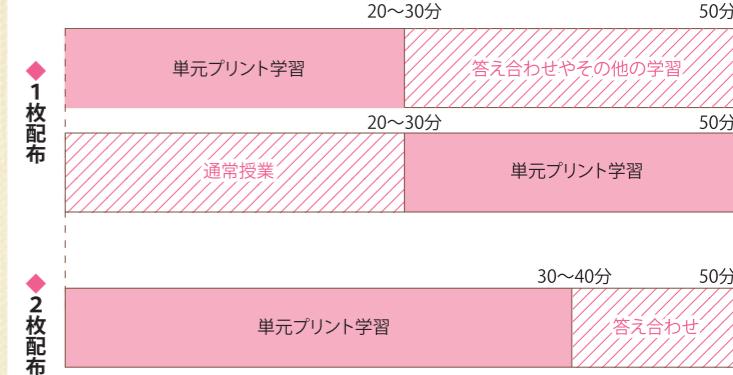
具体的な使い方をもっと知りたい。

Q どんなペースで使えばいい？

- ①単元終了時に1枚を基本として、授業の進み具合に応じて宿題で使用する。
- ②テスト前に2枚～3枚まとめて授業または宿題で使用する。
- ③上記の使用方法に加え、自習時の課題や授業進度の調整用として使用する。

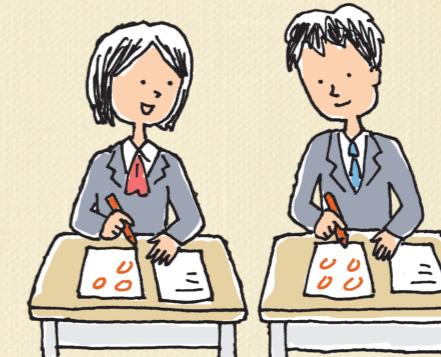
など、先生の授業計画に合わせて柔軟にお使いいただけます。

授業での時間配分の例



Q 答え合わせは？

- ①生徒の自己採点
- ②生徒同士での相互採点
- ③先生の採点



解説・解答が充実していますので、どのような形でも可能です。

Q 点検や評価は？

- ①点数を記録し、学期ごとに年間の評価に組み込む。
- ②提出状況や解答状況を評価に加味する。
- ③その場で点検し、指導に生かす。

採点・集計しやすい工夫がされています。

観点別の集計ができるように出題しています。

学年	名前	観点名	総合成績											
1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年